



学校法人 志賀学園
平第一幼稚園
平成 30 年 2 月 1 日

もうすぐ立春です。暦の上では、春が来るとはいえ、なかなか春の足音は聞こえそうにありませんね。

2月3日は節分です。節分には「季節を分ける」という意味があり、昔は立春、立夏、立秋、立冬のそれぞれの前日を指していました。そして冬から春に季節が変わるこの時期は新年を迎えると等しいくらい大事な時期とされ一年の始まりと考えられていました。そんな中で「新しい年も良い年になりますように！」と願い、また、季節の変わり目という事もあり体調を崩す人が多かったことから「邪気（鬼）を払う！」という意味合いを込め豆まきが始まったという事です。豆まきのやり方ですが、まずは、「鬼は外」だけを一通りやります。家の扉、窓を開け放します。「鬼は外」と掛け声をしながら2回、豆をまいたら素早く扉、窓や玄関を閉め今度は「福は内」と掛け声をしながら2回部屋の中に豆をまきます。これが豆まきの正しいやり方だそうです。

また、鬼の役は家の大国柱であるお父さんがするのはNGだそうです。理由は、節分の豆まきは家から鬼を追い出すということなので一家の大黒柱であるお父さんは鬼を追い出す主役なのです。なのでそのお父さんが豆をまかれて追い出されるのは間違いだと言われています。豆まきの後に豆を食べますが、福を呼び込む為に食べるのですから「福は内」でまいたものを食べたほうが良いです。食べる数は数え年（満年齢+1）の数だけ食べます。豆を食べる時は無言で食べるのが良いです。無言で食べる理由は「物忌み」といい神聖な時を表現する為に無言で過ごすのです。

正しいやり方も大切ですが、一番は家族で盛り上がり豆まきを楽しむほうが大切だと思います。幼稚園でも豆まきをいたしますが、みんなで楽しく行いたいと思います。

11日の『建国記念の日』は「建国をしのび国を愛する心を養う日」として1966年（昭和41）年に建国記念の日と定められました。史実に基づく建国された日とは関係なくたんに建国されたという事実をお祝いするという考えのもと「記念日」ではなく「記念の日」となりました。名前は変われど国を祝う気持ちには一緒。2月11日は、自分の国を想う1日にしたいですね。

昨年末から始めた朝のラジ体操とマラソンですが、寒い日でも続けていることもあり、風邪を引く子が少なくなってきました。また、すみれ・さくら組の子どもたちは、降園前の時間に、なわとびの練習をしています。なわとび大会が終わっても続けていきたいと思っています。子どもたちが楽しみにしていた「なかよしランチ」、ばら組は1組・2組との交流、すみれ組はさくら組との交流で、和気あいあいと楽しくお弁当を食べています。さくら組も残りわずかとなった園生活を実のりあるものとするために、今まで以上に関わっていこうと思います。

吉竹 芳江